

版画Ⅱ

科目ナンバリング ARL-108
選択 2単位

大貫 真寿美

1. 授業の概要(ねらい)

「版画Ⅰ」を履修した学びを生かし、深める。

パソコンや携帯・スマートフォンの普及により、物を液晶画面で確認することが多くなった。

物の実在感を感じる機会が少なくなった現代において、手作業によるものづくりを意識的にするべきである。版画実技演習を通じ物の実在感を再認識し、作品を作ることは様々な思考力も養うと実感する。

簡単な「版」の作り方、用具材料の扱いを学ぶところから始め、制作を楽しみながら自分の表現を探してゆく。木版画などを制作し、自分の制作したものをファイルして「ポートフォリオ」にまとめ、自分の表現活動を通じての学び気づきを振り返り確認する。生涯を通じて表現活動を行う手がかりとする。

「版画Ⅰ」で学んだことを生かし、自分の表現したいものを表現するようにする。

2. 授業の到達目標

物の実在感を再認識する。版画制作を楽しむ。表現することの喜びを味わう。制作を通じて自分の表現を探す。表現を通じて思考力を高める。版画表現の多様性を適した形で生かした表現ができるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の制作。意欲関心態度。ポートフォリオ。

制作作品60%、作品コメント、意欲関心態度40%

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

物をよく観察する習慣。通学途中のポスターなど様々な表現を観る習慣をつけること。指定された用具材料の準備。多くの作品を鑑賞すること。図版のみならず、美術展にも足を運ぶこと。

6. その他履修上の注意事項

自ら表現する科目である。自分を見つめ、世界を見つめ、何を表現したいかを探すこと。

※用具材料の準備をして授業に臨むこと。また、使った用具材料の片づけまでが学習活動である。必ず片づけをして教室を退出すること。

※「版画Ⅰ」を履修したもので第一回目の授業に出席した者のみ履修可とする。

※教材、消耗品は各自で購入すること。教室内で購入可(例年1,200円程度)

7. 授業内容

- 【第1回】 LMSによるオリエンテーション
・授業に必要な用具材料の説明
- 【第2回】 ・一版一色版画に着色についての説明
・改めて「彫」について
- 【第3回】 ・一版一色版画の再構成
・電動糸鋸の使い方・注意事項
- 【第4回】 ・一版一色版画の再構成と着色
- 【第5回】 ・三版三色版画について
- 【第6回】 ・三版三色版画制作①
- 【第7回】 ・三版三色版画制作②
- 【第8回】 ・三版三色版画制作③
- 【第9回】 ・三版三色版画制作④
・三版三色版画のまとめ
- 【第10回】 ・版画の種類とサインの方法
- 【第11回】 ・ドライポイントの陰刻版画について
- 【第12回】 ・ドライポイントの陰刻版画制作
・インクの適量について
- 【第13回】 ・モノタイプ版画について
・モノタイプ版画制作
- 【第14回】 ・ポートフォリオ制作
- 【第15回】 ・まとめ